

気仙沼市立階上中学校の防災学習の授業で講演しました(2019/5/15)

場所：気仙沼市立階上中学校（気仙沼市）
参加者：佐藤翔輔准教授，新家（M2）

5月15日（水）に、気仙沼市立階上中学校にて同校の「防災学習」の授業が行われ、佐藤翔輔准教授が講話を行いました。階上中学校では、東日本大震災は発生する前から、熱心に防災教育に取り組んでおり、2017年以降は、当研究所で防災学習のカリキュラムを支援しています。同校では、2017年度に2016年11月22日福島県沖地震津波における住民の避難行動に関するアンケート調査、2018年に2011年東日本大震災における住民の避難行動に関するアンケート調査を「生徒さんが地域住民」に行うという大変珍しい取り組みを実施してきました。今年度は、アンケート調査ではなく、生徒さんが地域住民から、あの日からの体験を聞き、記録集にまとめて、教訓を学ぶ、といういわゆる聞き取り調査を実施することになりました。

佐藤翔輔准教授からは、聞き取り調査の意義・優れていること、その具体的なやり方やコツについて講話しました。その後、「練習」として、グループに分かれて、学校の先生方に当時の体験の話しを聞く機会が設けられました。新家（M2）も練習に参加し、生徒さんたちへ当時の体験を話しました。練習を始める前は、生徒さんも、先生方も、やや不安そうでしたが、ひとたび始めてしまえば、生徒さんの話しを聞く真剣な眼差し、とまらないメモ書き、と「練習」ではありましたが、とても有意義な回となりました。今後、生徒さんたちが1年かけて、地域のみなさんに、その日の体験を聞き取り、記録をつむぐ防災教育が行われます。この授業には、1～3年生の全生徒・約120名が参加しました。



講話の様子（佐藤翔輔准教授）



聞き取り調査の練習の様子（1）



聞き取り調査の練習の様子（2）



聞き取り調査の練習の様子（新家 M2）